

<講義コード> 5551201

<開講学部> 経済情報学部経済情報学科


2018年度

科目名	Eコマース論 I	単位	講義区分	担当教員	河野 公洋
		2単位	講義		
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力 情報の分析に関する力 ナンバリング E 2 INA304				
到達目標及びテーマ	電子商取引の現状とあり方を具体的、実践的に理解し、その創造的構築のための手がかりを得ることを目的とする。				
授業の概略	インターネットの発達により国内はもちろん国際的にも商取引の形態がダイナミックに変貌した。これまでは、商社や大企業を中心としたビジネスが大半を占めていたが、最近ではメーカーや流通業の商取引が急速に普及・拡大している。本講義はこうした電子商取引の仕組みや現状、そのメリットや問題点などをテーマとしたものである。IT活用によるデータ交換と情報共有の進展と問題点をEDI、CALSなどを通して学び、さらにeビジネスにおける諸主体間の関係性の特徴や問題点をSCM(ロジスティクス)、CRMなどを通して学ぶ。				
授業計画					
第1回	Eコマースとは？EC(電子商取引)の種類と現状(2～12企業間EC、13～15企業・消費者間EC)				
第2回	ECとは？ECの種類と現状				
第3回	ECの歴史の変遷① 情報ハイウェイとロジスティクス				
第4回	ECの歴史の変遷② わが国のビジネス電子化				
第5回	ECの歴史の変遷③ 今日的な話題				
第6回	ITの進展と経済・社会の変化(ユビキタス社会)				
第7回	IT化の現状と課題				
第8回	IT化と小売業				
第9回	IT化と小売業				
第10回	IT化と製造業				
第11回	IT化と製造業				
第12回	電子マネー				
第13回	インターネットマーケティングと消費者				
第14回	モバイルECの実情				
第15回	ECとセキュリティ				
事前学修	講義内容を復習し、講義ノートを読み返すこと	Eコマースとは？ECとは何かを事前に調べておくこと。			
事後学修	2時間	講義内容を復習し、講義ノートを読み返すこと。			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	60 %	筆記試験			
レポート	20 %	マナログで、理解度チェック・小テストを何度か行います。			
上記以外の試験、平常点評価	20 %	出欠は、マナログで取ります。			
教科書	特に定めない。適宜指示する。ノートのとり方に注意すること。				
参考資料	特に定めない。適宜指示する。				

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

岐阜聖徳学園大学「E コマース論 I」科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	E コマース論 I
時間割	毎週火曜日 3 時限目 13時10分開始 14時40分終了
初回の授業日	4月10日(火)
講義室	岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス 3号館 311 教室
注意事項	・この講義は対面授業となります。 ・初回以降の授業のお知らせは学内の掲示板で行います。
授業についての 問合せ	岐阜聖徳学園大学 岐阜教務課 Tel: 058-278-0731

地図	
交通アクセス	名鉄岐阜駅前(1 番のりば) 発→JR 岐阜駅(6 番のりば) 経由→ 岐阜キャンパス(最寄停留所: 六条大溝町) 名鉄岐阜駅前(2 番のりば) 発→JR 岐阜駅(4 番のりば) 経由→ 岐阜キャンパス(最寄停留所: 東鶉または 岐阜保健短大前)